※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１２

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	情報Ⅱ　（実教出版）						
副教材等	３０時間でマスターWord&Excel２０１９　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「情報Ⅱ」の目標は、１年次に学習した「情報Ⅰ」の内容を活かし、日常生活における問題解決を図るために文書作成ソフト、表計算ソフト、プレゼンテーション作成ソフトをより駆使し、専門的、視覚的に活用する能力を学習します。ただし、情報の世界も現実の世界と同じく日々変化を続けています。ですから、単純に今あるコンピュータの操作方法を学ぶだけでは「情報を活用する能力」とはいえません。普段からニュース等で教科書以外のところからも見識を深めていき、対応できる能力を身につけていきましょう。

また、今のあなたたちは「聞き手を意識したプレゼンテーション」が求められ、自分の意見や考えを伝えるだけでなく、そこに更に新しいものを付加し、発信することができる人となれるよう様々な能力を高めていきましょう。

２　学習の到達目標

・多様なコミュニケーションの実現，情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報技術の発展と社会の変化について理解を深めるようにする。
・様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的，創造的に活用する力を養う。
・情報と情報技術を適切に活用するとともに，新たな価値の創造を目指し，情報社会に主体的に参画し，その発展に寄与する態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・課題を解決するために必要な、基礎的・基本的な技能を身につけ、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている。 ・情報が常に新しいものへと進化する社会の特質、及びそのような社会と人間との関りについて理解している。	・課題に対して「求められていることは何か」「何が必要か」「どう表現すればよいのか」を自ら考えることができるようになる。 ・身の周りの事象を、情報とその結びつきの観点から捉え、表現することができるようになる。	・提出物に対して教員の発言等を必要に応じてメモを書いている。 ・自分の作品を、教員の見本から発展させてより良い物にしようと創意工夫をしようとしている。 ・グループワークに参画し、課題に対して主体的に取り組み、自らを評価しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	データサイエンス	・データサイエンスと社会 ・データの収集 ・データの整理と変換 ・データの分析と可視化	a: ・データ分析に基づく問題解決のプロセスについて理解している ・探索的なデータ分析の概念について理解している。 ・インターネットからのデータ収集についてデータの形式や収集の方法を理解している。 ・表形式のデータの表現について理解している。 ・文字列の名寄せの処理について理解している。 b: ・収集したデータを整理し、意味のあるものに変換することができる。 ・データに関する様々な事象について説明することができる。 c: ・データから社会との関りについて考えながら、課題やグループワークに主体的に取り組もうとしている。 ・インターネットで公開されているデータ等に興味、関心を示している。	学習状況の観察	学習状況の観察 学習プリントの記述	学習状況の観察 学習プリントの記述 タイピングの取り組み
	文書作成実習	・入力の基本 ・ビジネス文書の書き方 ・課題作品 ・グループワーク ・発表 ・Word 実技テスト	a: ・ビジネス文書が作れる。 ・word に表を挿入できる。 ・図形等を利用して地図等を描くことができる。 ・Word の機能について知識を持ち、適切に利用できる。 b: ・自分の表現したいものをどうすれば表現できるか考えることができる。 c: ・実習や作品制作に意欲を持って取り組んでいる。 ・自分の作品をよりよくしようと工夫している。	学習状況の観察 実習作品 課題作品 レポート 発表 実技テストの結果等	学習状況の観察 学習プリントの記述 実習作品 レポート 発表 相互評価 自己評価等	学習状況の観察 学習プリントの記述 グループワークへの取り組み タイピングの取り組み

※令和４年度以降入学生用

２学期	コミュニケーションと情報デザイン	・わかりやすい情報伝達	a: ・画像や表を効果的に取り入れることができる。 ・図やグラフ等を利用してわかりやすく表現できる。 ・情報を伝達する際の注意事項について理解している。 ・企画書の作成に文字、表、図形、画像等を効果的に用いる方法を理解している。 b: ・目的や対象を明確にして、表現やデザインの工夫を行っている。 c: ・わかりやすく情報伝達しようとする意欲が見られる。	学習状況の観察	学習状況の観察 学習プリントの記述	学習状況の観察 学習プリントの記述 タイピングの取り組み
	表計算実習	・データの入力 ・グラフの作成 ・基本的な計算 ・関数の利用 ・データの検索 ・Excel 実技テスト	a： ・表計算ソフトへのデータの入力と抽出ができ、関数を利用できる。 ・表計算ソフトを利用し、条件にあうデータの検索ができる。 ・目的に応じて数値の変化などをわかりやすいグラフで表現できる。 ・目的に応じて数値の変化や割合などをグラフで表現できる知識がある。 ・条件にあわせて関数を選択して利用するための知識がある。 ・データ分析の手法について理解している。 b： ・課題に応じて利用するグラフを適切に選択できる。 ・条件にあわせて適切に関数を選択してりようできる。 c： ・実習に意欲を持って取り組んでいる。 ・自分の取り組む課題をよりよくしようと工夫している。	学習状況の観察 データ検索と分析 課題作品 レポート 発表	学習状況の観察 学習プリントの記述 レポート 発表 相互評価 自己評価等	学習状況の観察 学習プリントの記述 グループワークの取り組み タイピングの取り組み

※令和４年度以降入学生用

２学期	プレゼンテーション実習	・テーマの決定 ・ポイントの絞り方 ・スライド制作 ・原稿用意 ・発表	a: ・静止画、図形、画面切り替え、アニメーションなど多彩な表現メディアを利用している。 ・プレゼンテーション制作の各段階のポイントを理解している。 ・多彩な表現メディアを効果的に利用する方法を理解している。 b: ・プレゼンテーションのテーマが適切である。 ・ストーリーがしっかりと構成されている。 c: ・実習や作品制作に意欲をもって取り組んでいる。	学習状況の観察 実習作品 課題作品 レポート 発表	学習状況の観察 学習プリントの記述 レポート 発表 相互評価 自己評価等	学習状況の観察 学習プリントの記述 タイピングの取り組み
３学期	コンテンツの制作	・コンテンツ制作の流れについて ・コンテンツ制作の計画について ・コンテンツの制作について	a： ・コンテンツの制作の流れを理解している。 ・コンテンツを企画・設計するための手法を理解している。 ・コンテンツを制作するための技術を身につけている。 b： ・よりよいコンテンツになるように工夫しようとしている。 ・コンテンツの特徴を活かした活用方法を考え、コンテンツ作成に活かそうとしている。 c： ・全体の見通しをもってコンテンツを制作しようとしている。 ・よりよいコンテンツになるように適宜、修正等をはかり、改善しようとしている。	学習状況の観察 実習作品 課題作品	学習状況の観察 学習プリントの記述 相互評価 自己評価等	学習状況の観察 学習プリントの記述 タイピングの成績

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度